

報道関係者各位

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話:022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

牡鹿半島・海のくらしの風景 in 鮎川

—再生・被災文化財—

開催のご案内と取材のお願い

東北学院大学博物館では、東日本大震災によって被災した牡鹿公民館所蔵の考古・民俗資料を救出し、博物館で洗浄、脱塩、燻蒸作業などを繰り返し、保全に努めてきました。このうち民俗資料は、かつてどのように使われたかなどのデータが失われており、資料の復旧とともにデータの獲得が今後の活用のために必要です。

東北学院大学文学部歴史学科の加藤幸治准教授が担当する民俗学実習では、過去2年間にわたり、資料を展示し、来場者のお話をうかがって使い方などを調べる、聞き書きプロジェクトを実施してきました。震災の年から4度目の夏。今年も第3回となる『牡鹿半島・海のくらしの風景 in 鮎川』を開催いたします。

記

「牡鹿半島・海のくらしの風景 in 鮎川 —再生・被災文化財—」

主 催:東北学院大学博物館

開催日: 8月17日(日) 13:00~16:00

8月18日(月) 9:30~16:00

8月19日(火) 9:30~16:00

8月20日(水) 9:30~12:00

内 容:旧牡鹿公民館所蔵(現石巻文化センター所蔵)民俗資料約70点の展示。
来場者に文化財復旧作業と資料を見ていただき、進捗状況をお伝えする。
来場者から、学生が民具の使い方などのデータとなる情報を聞き書きする。
※本企画は、文化庁「被災博物館等再興事業」の一環で行われています。

【会期中の取材の問い合わせ】

東北学院大学文学歴史学科 加藤幸治准教授